

令和7年度 事業報告書 -第23号-



社会福祉法人 福岡市社会福祉事業団
福岡市立障がい者就労支援センター

目 次

概 要

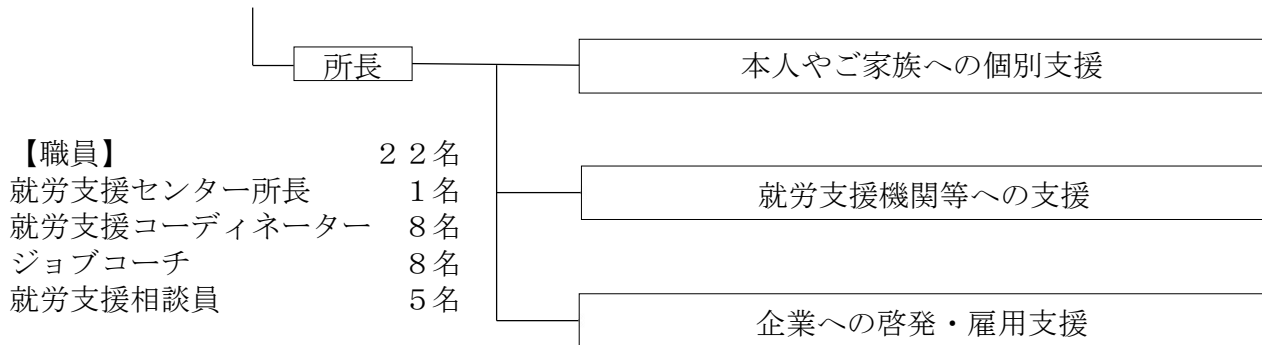
福岡市立障がい者就労支援センター概要	1
福岡市立障がい者就労支援センター沿革	3

事業実績

1. 相談の状況	4
2. 登録者の利用状況	4
3. 支援の状況	5
4. 就職者の状況	5
5. 事業実施の状況	7
6. その他	1 1

福岡市立障がい者就労支援センターの概要

1. 名 称 福岡市立障がい者就労支援センター
2. 所 在 地 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1丁目4番13号 福岡市舞鶴庁舎4階
電話 092(711)0833 F A X 092(711)0834
3. 目 的 障がい者の民間企業等への就労や職場定着を促進するため、本人や家族、企業・関係団体等からの相談に応じると共に、職場開拓やジョブコーチ派遣等による人的支援など、障がい者雇用の支援を実施することによって障がい者の就労促進を図ることを目的とする。
4. 開 設 平成15年4月1日 (令和5年7月1日より指定管理)
5. 設 置 福岡市
6. 管理運営 社会福祉法人 福岡市社会福祉事業団 (福岡市より指定管理者として選定)
7. 職員体制 福岡市社会福祉事業団 障がい者就労・発達支援課



8. 管理運営業務

(1) 障がい者の相談・支援事業

障がい者本人やその家族などからの相談に対応する。相談内容により、障がい者を適切な就労支援機関につなげるため、就労に関するアセスメント（職業評価）を実施するなど、個々の障がい者に応じた対応を行う。

(2) 民間就労支援機関への支援

- ①市内の民間就労支援機関の職員を対象とした研修会を年間3回以上実施する（企業との意見交換会等を含む）とともに出前講座（事業者内研修等への講師派遣）を実施する。
- ②企業や実習先に関する情報提供する。
- ③民間の就労支援機関からの利用者を支援する上での相談に対して、アセスメント（職業評価を含めた助言等）を行う。

(3) 企業への支援

- ①企業からの障がい者を雇用する上での相談に対応するため専用の電話やメール等の窓口である障がい者雇用サポートデスクを運営し、企業へ啓発・助言を行う。
- ②障がい者雇用に関する企業向けのセミナーを年3回以上開催する。
また、出前講座（社内研修等への講師派遣）を実施する。
- ③在職者を対象とした就労ソーシャルスキルトレーニング（SST）講座の実施や、ジョブコーチを派遣し、企業等での障がい者に対する業務指導及び職場定着に必要な生活面の支援を行う。
- ④企業等に対し、障がい者雇用に対する理解促進に向けた広報・啓発活動により、障がい者の就労を促進する。

(4) 関係機関との連携等

- ①就労を希望する発達障がい者については、発達障がい者支援センターと連携・協力して対応する。また、民間の就労移行支援事業所、企業等にとって就労への困難度が高い、長期的な支援を必要とする障がい者に対して、公的な機関として、きめ細かく対応していく。
- ②大学、短大等の教育機関と連携し、礼儀、挨拶、身だしなみなど、ビジネスマナーに関するスキルアップセミナーとして、3回の講座を年間2サイクル実施する。
- ③区障がい者基幹相談支援センター等の関係機関に対し、就労支援機関に関する情報提供、研修等を行う。
- ④公共職業安定所等の労働関係機関との連携を密にし、福祉・教育・企業等とのネットワークをつくり、それらをつなぐ役割を果たし、効果的な支援を行う。

(5) その他の支援

障がい者インターンシップ事業として、就労を目指している障がい者に、側場実習の場として福岡市庁舎や区役所等を提供することを目的に、実習生の決定、実習時期・内容の組み立て、ジョブコーチの派遣等を行う。

(6) 研修室等の貸出

障がい者団体等に対し、条例、規則に基づき講習室、研修室等の利用提供を行うこと。

(7) 広報、啓発事業

ホームページの活用を行うなど、事業の広報に努めること。

また、障がい者への理解を深めるため、地域、校区の住民や福祉関係者の施設見学、研修等を積極的に受け入れ、啓発を行うこと。

9. 沿革

年 (平成)	月	内 容
13	4	福岡市障害者就労施策検討委員会が設置される
	11	福岡市障害者就労支援施策検討委員会第一次報告書で「福岡市障害者就労支援センター（仮称）」の設置が提案される
14	6	福岡市障害者就労支援センター（仮称）の運営事業者募集 その後、審査委員会が開催される
	8	社会福祉法人福岡市社会福祉事業団が運営事業者に決定する
	10	開設準備室を設置する（平成15年3月まで）
15	3	福岡市障害者就労支援施策検討委員会第二次（最終）報告書が発行される
	4	福岡市障害者就労支援センター開所（1日） 開所記念式典を行う（7日）
17	2	障害者の態様に応じた多様な委託訓練の実施に係る協力を始める
	4	福岡市障がい者就労支援センターに名称を変更する（1日） 福岡市障がい者インターンシップ事業を受託する
	7	知的障害者県職場体験実習事業（福岡県）に協力を始める
19	4	パソコン講習等事業を受託する 障がい者職場定着促進事業を受託する
20	4	同業種交流会事業を実施する
21	4	就労支援相談員事業を開始する 就労移行支援事業所への技術的支援事業を開始する
22	4	登録者等管理システムを導入する
28	5	中央区長浜に事務所を移転する
29	7	障がい者雇用サポートデスクを設置する
令和元	3	知的障害者県職場体験実習事業（福岡県）終了
令和4	7	社会福祉法人福岡市社会福祉事業団が福岡市立障がい者就労支援センターの指定管理者に選定される
令和5	7	発達障がい者支援センターとともに中央区舞鶴に事務所を移転する

10. 建物概要

福岡市舞鶴庁舎 鉄筋コンクリート7階建4階 （約84.3㎡）

事業実績

1 相談の状況

障がい者やその家族からの相談に対応し、必要に応じて職場体験実習や雇用の際にジョブコーチ支援等を行った。また企業、関係機関等からの就労・雇用に関する各種相談に対応した。

(1) 相談総件数

(単位：件)

本人・家族	企業	関係機関	計
4,748	1,500	1,968	8,216

(2) 本人・家族相談のうち：障がい別総件数

(単位：件)

身体	知的	精神	発達	その他	計
487	1,313	1,545	1,319	84	4,748

※令和4年度に相談対応した登録者の延べ人数（令和4年度新規登録者を含む）

(3) 本人・家族相談のうち：相談の方法別

(単位：件)

来所	所外・訪問	アセスメント	面接同行	電話	FAX	メール	計
1,140	470	227	52	2,518	10	331	4,748

2 登録者の利用状況

障がい者やその家族、関係機関等からの相談に応じ面談を行った。その内、支援を希望された方は、登録後、個別支援計画を策定し継続的に支援を行った。

(1) 新規登録者の状況（実人数）

①障がい別

(単位：件)

身体	知的	精神	発達	その他	計
19	25	50	35	3	132

※その他：いずれの区分にも属さず、またいずれの手帳も取得していない人

②年代別

(単位：件)

10代	20代	30代	40代	50代以上	計
16	39	31	19	27	132

※登録時の年齢

(2) 当初からの累積登録者数

①障がい別

(単位：人)

身体	知的	精神	発達	その他	計
928	1,476	1,337	509	54	4,304

3 支援の状況

障がい者、その家族、企業等に対し、個別のニーズに応じてジョブコーチ支援等を行った。

(1) ジョブコーチ支援数

(単位：件)

事前支援	集中支援	フォローアップ	計
268	333	1167	1768

※事前支援：面接同行、事前の通勤練習や打ち合わせ等の支援

※集中支援：職場内外での集中的な支援

※フォローアップ：採用後、職場定着に向けた継続的な支援

(2) 職場実習の状況

(単位：件)

当センター 職場体験実習	障がい者イン ターンシップ	計
59	11	70

※障がい者インターンシップは事業団内での実習を含む

(3) ケース会議の実施数及び対象障がい別

実施回数	身体	知的	精神	発達	その他	参加機関数
12	0	3	3	6	0	30

※センターを含め3者以上の機関でケース会議を実施したもの

4 就職者の状況

障がい者、その家族、企業等に対して、個別のニーズに応じて関係機関の紹介や職場実習の実施、ジョブコーチによる職場定着支援などを行い、企業就労（継続）に至った。

(1) 就職者数（延人数）

(単位：人)

区分	身体	知的	精神	発達	その他	計
総数	14	24	16	14	1	69

(2) 就職者の年代別

(単位：人)

10代	20代	30代	40代	50代以上	計
7	20	13	19	10	69

※就職時の年齢

(3) 就職時の状況

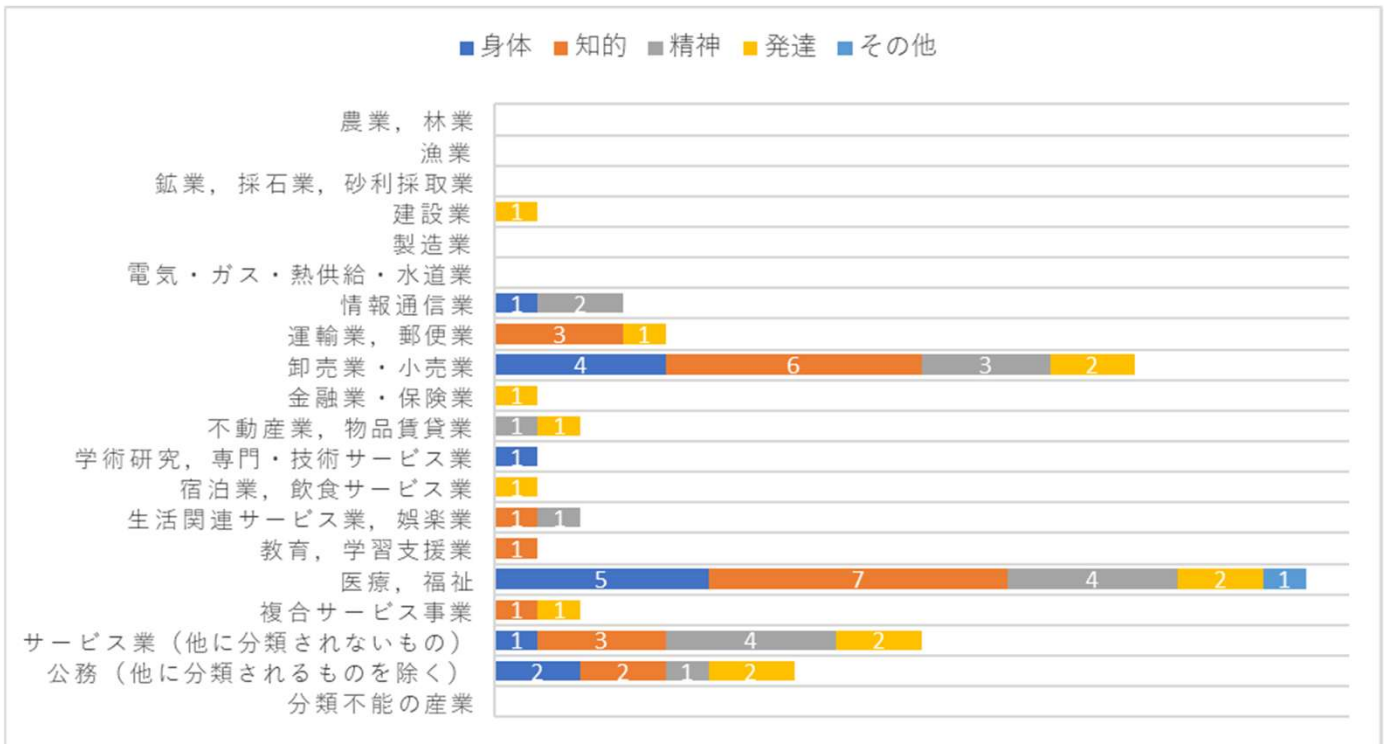
(単位：人)

区分	在宅	福祉事業所		就労中		在学中		その他 ※2	計
		就労移行	その他※1	企業	A型事業所	特別支援	その他		
年度計	42	0	0	19	2	4	2	0	69

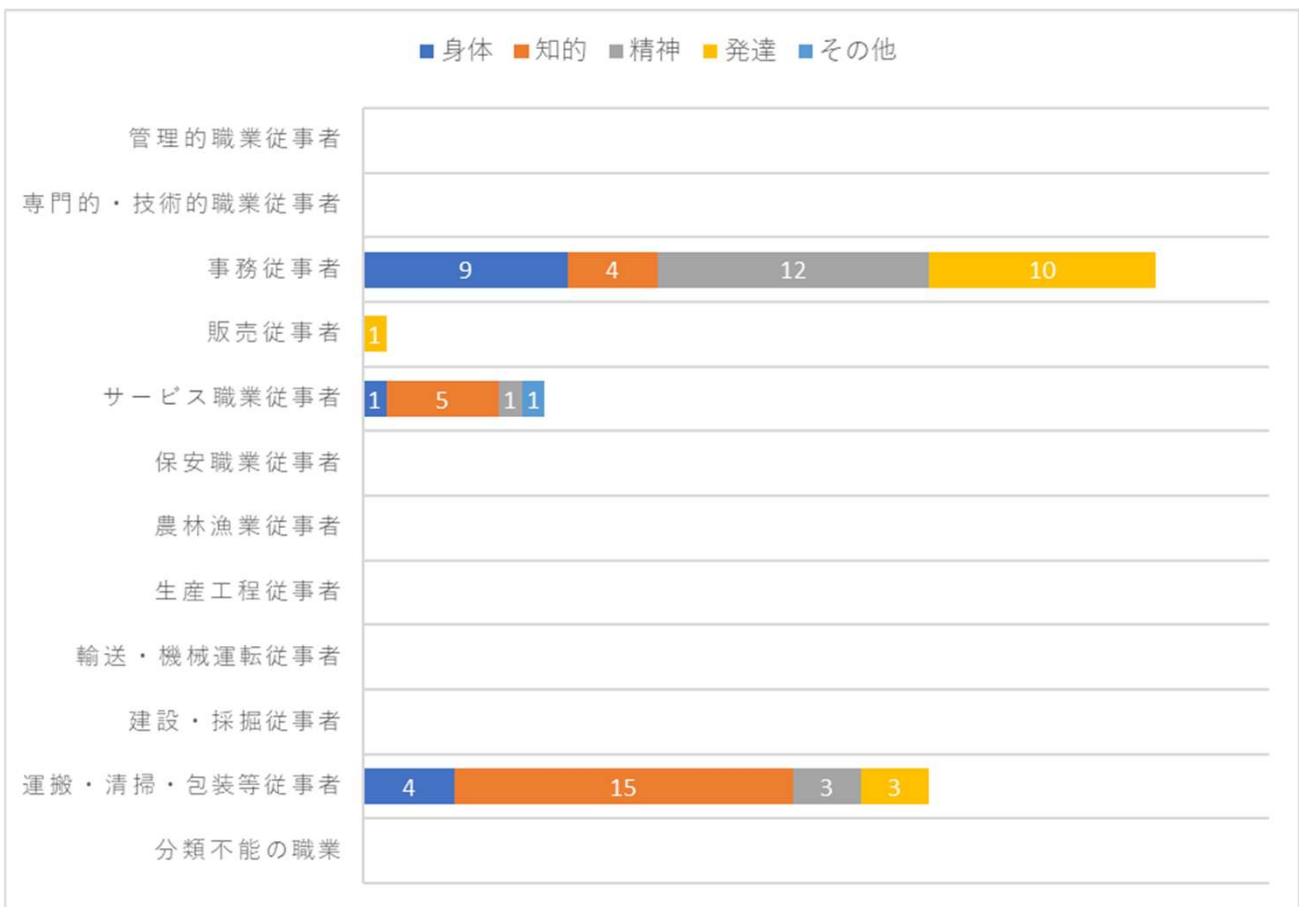
(※1) 就労継続支援B型事業所・自立訓練事業所等

(※2) 左記に含まれない事業所

(4) 就職者の産業分類別



(5) 就職者の職業分類別



5 事業実施の状況

(1) インターンシップ事業

福岡市庁舎や区役所及び事業団において、職場実習の場を提供することにより、障がい者の社会参加、就労への支援とともに障がい者理解の促進を図った。

実施件数（件）	11
---------	----

(2) 職場定着促進事業

就労に向けた準備や就労継続へのモチベーションの維持及びビジネススキルの向上を目指し、意見交換や交流ができる場を提供した。

①スキルアップセミナー

就職活動中に必要な知識や技能の習得のため、講義（ビジネスマナー等）や企業見学、模擬面接を行い早期就労を目指した。

受講後は、インターンシップ事業やサポーター企業を活用して職場体験実習を実施し、教育機関へフィードバックを行った。また、希望者には、その後の求職活動を大学等と連携して行い、就職や職場への適応・定着への支援を行っている。

区分	開催月	実施日数	内容	延べ参加人数
第1回	8～9	5	講義：就労のイメージ作りや雇用事例紹介など 演習：面接ロールプレイ・グループワーク・作業体験 企業見学：株式会社 NTT西日本ルセント 株式会社 ブランチェス 株式会社 ナカノ商会福岡第2支店	34
第2回	12	2	講義：就労のイメージ作りや雇用事例紹介など 演習：面接ロールプレイ・グループワーク・作業体験	10
第3回	2～3	4	講義：就労のイメージ作りや雇用事例紹介など 演習：面接ロールプレイ・グループワーク・作業体験 企業見学：ANA	16

対象：大学、短期大学、専門学校、高等学校の在学生、第2新卒者

※サポーター企業 短期間働くことを体験できる職場体験実習協力企業

②在職者を対象とした就労SST講座

企業のニーズを踏まえ、在職者を対象に、対人適応スキルの獲得・向上を目指してグループによる研修を実施した。 *SST：ソーシャル・スキル・トレーニング

・就労SST講座

講師：SST普及協会認定講師

対象者：在職者

実施日数	延べ参加人数
8	44

※SST：ソーシャル・スキル・トレーニングとは、学習理論に基づき、体系的、意図的に対象者の社会的スキル形成を図る構造化された援助方法

(3) 障がい者就労支援セミナー

企業や各関係機関をはじめとして広く市民を対象にセミナーを実施した。

開催日	内容	参加者 (人)
10月24日	講演「障がいのある人の就労支援～発達障がいのある方が社会で活躍するために～」 講師 早稲田大学 教育・総合科学学術院教授 梅永 雄二 氏	155

(4) 3センター合同会議

令和4年度より、福岡障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター野の花との3センター間で会議を定期的（2か月に1回程度）に開催し、情報交換や福岡市内における就労支援の現状と課題について協議した。また、7月には合同で研修会を開催した。

区分	合同会議（回）
7年度	6

・合同研修会

開催日	内容	参加者 (人)
7月24日	講演① 「行政説明 就労定着支援について」 福岡市福祉局障がい者部障がい施設福祉課施設指導第1係長 藤澤 賢史氏 講演② 「福祉就労から一般就労へ ～就労への流れとナカポツができる支援とは～」 社会福祉法人野の花学園障害者就業・生活支援センター野の花 鬼塚 花凜氏 講演③ 「就職はゴールじゃない。「働き続ける」を支える視点 —2年半のケース検討から見えた定着支援のリアル—」 NPO法人Build Up Inclusion FUKUOKA 理事長 田中祐司氏 意見交換会	45

(5) 民間の就労支援機関への技術的支援事業

市内の民間就労支援機関の職員を対象とした研修会を実施した。

①就労支援事業所研修会

就労支援の基本的な視点等について、医療や企業で障がい者雇用に関わる立場から支援者に求めるものとして講話及び参加者間での意見交換を実施した。

開催日	内容	参加者 (人)
6月5日 会場開催	講義 「企業支援～企業とつながる～」 福岡市立障がい者就労支援センター 黒田 小夜子 演習 企業開拓ロールプレイ ・企業訪問時の対応について（グループ討議・ロールプレイ）	32

開催日	内容	参加者 (人)
9月5日 会場開催	企業との意見交換会 株式会社アインホールディングス 花王ロジティクス株式会社 株式会社スタッフサービスクラウドワーク 株式会社セイビ九州 株式会社メンバーズ	28
10月16日 会場開催	ワークサンプル幕張版（MWS）勉強会及びアセスメント室利用説明会 ・ワークサンプル幕張版（MWS）講義 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 福岡支部 福岡障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 井上 満佐美氏 ・作業体験会 ・グループディスカッション ・アセスメント室利用についての説明 福岡市立障がい者就労支援センター 篠原 玲子	17
2月5日 会場開催	事例報告 「就労準備期のアセスメントを考える」 福岡市立ももち福祉プラザ 職業指導員 灰崎 里穂氏 福岡市立障がい者就労支援センター 篠原 玲子	26

②スタートアップ講座

出前講座や企業見学の依頼を受け実施した。

実施回数	7	参加者内訳	職員	利用者
参加人数	35		20	15

③就労支援事業所への技術的支援

就労支援事業所に対して、体験実習先や企業情報等を提供し、支援の内容や方法などについて協働支援を実施した。

区分	就労継続支援A型・B型事業所等	就労移行支援事業所
実事業所数	32	30
実人数	36	73

(6) 大学・短大との連携支援

①大学・短大の障がいのある学生への就労支援連絡会

学生支援・就職支援担当者を対象としてセミナーを実施した。

参加機関	8
参加人数	11

開催日	内容
1月22日	講演：「障がい学生のキャリア支援～事例から考えること～」 講師：筑紫女学園大学 連携推進部進路支援班 主査 坂井 和美氏 講師との質疑応答、意見交換等

②企業・学生・支援者交流会

企業・障がいのある学生・学生の支援者が互いを知る場として交流会を開催し、その後、希望する学生に対しインターンシップを実施した。

参加人数	企業	学生	支援者	計
	6	8	6	20

参加企業：医療福祉法人社団江頭会さくら病院
株式会社Q-CAP
株式会社九州日立システムズ
ネッツトヨタ西日本株式会社
ヤマト運輸株式会社

(7) 企業への啓発や雇用支援

就労支援相談員が、障がい者雇用に向けた各種相談に対応するとともに必要に応じコーディネーター、ジョブコーチと連携し雇用に関する提案等を行った。

①相談対応件数 (単位：件)

企業	3466
就労支援事業所	777

②企業セミナーの実施

企業を対象にした障がい者雇用セミナーを開催した。

うち初めて障がい者雇用を検討する企業を対象として、障がい者雇用スタートアップセミナーを2回開催した。

	日程及び内容	参加者
第1回	5月26日 ～ 6月6日 動画配信 「障がい者雇用における制度の変更点及び雇用の現況」 福岡労働局職業安定部職業対策課 障害者雇用担当官 下地 哲也氏	136社 191名
第2回	6月20日 講演①「障がい者雇用における業務の切り出しについて」 福岡市立障がい者就労支援センター 黒田 小夜子 講演②「就労支援センターの役割と支援の流れについて」 福岡市立障がい者就労支援センター 新川 敦子	59社 78名
第3回	7月18日 「障がい者雇用における求人票の書き方のポイント」 福岡中央公共職業安定所 障害者就労支援コーディネーター 野田 淳子氏	34社 40名
第4回	9月19日 「定着率向上の鍵！～障がい者雇用における合理的配慮の実践とは～」 法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニティ学科 教授 眞保 智子氏	50社 129名
第5回	11月19日 講演「発達障がいの特性と対応」 福岡市立発達障がい者支援センター（ゆうゆうセンター） 大宅 妙氏 発達障がい者支援センター展示室見学	31社 40名
第6回	2月13日 「二次障がいとしてのうつ病等の特性と配慮」 福岡市精神保健福祉センター 精神科医師 山田 宗和氏	56社 76名

③同業種交流会の実施

障がい者雇用に取り組む企業を対象に、企業間の繋がりを深め、市域における障がい者雇用をけん引するネットワークの構築に向けた取り組みとして、同業種交流会を開催した。今年度は医療業界を対象として計3回実施。

	日程及び内容	参加者
第1回	10月10日	12名
	「特別支援学校での就労に向けた取り組みについて」 福岡市教育委員会 福岡市発達教育センター 所長 松本 学氏 意見交流会	
第2回	11月14日	11名
	「ヘルスキーパーとしての障がい者就労について」 福岡県立福岡高等視覚特別支援学校 教諭 塚本 敏郎氏 意見交流会	
第3回	12月12日	22名
	「介護・医療機関における障がい者雇用の事例について」 特定医療法人財団博愛会 介護部門 事務長 呼子 修一氏 意見交換	

④障がい者雇用サポートデスクの活動状況

来所	電話	所外・訪問	メール等	計
47	288	496	535	1,366

出前講座

実施回数	参加人数	テーマ
10	206	「障がいのある人と共に働く」等

⑤サポーター企業

短期間働く事を体験できる企業として、サポーター企業の登録企業数の確保に努めた。

登録企業数	111
-------	-----

6 その他

(1) 各種広報等の実施状況

ホームページでジョブコーチ活動報告等を掲載するとともに、広報誌を発行した。
SNS（インスタグラム、フェイスブック）を開設し、各種事業について随時広報を行った。

発行月	内 容
8	広報誌「はッピーわーく 第65号」 課長就任挨拶、事例紹介
2	広報誌「はッピーわーく 第66号」 事業紹介、事例紹介
8	令和6年度「事業報告書 第22号」

(2) 研修・研究

依頼に応じ、研修等への講師派遣や見学等の受け入れを行うとともに、積極的に職場研修を行い研鑽に努めた。

①職場研修

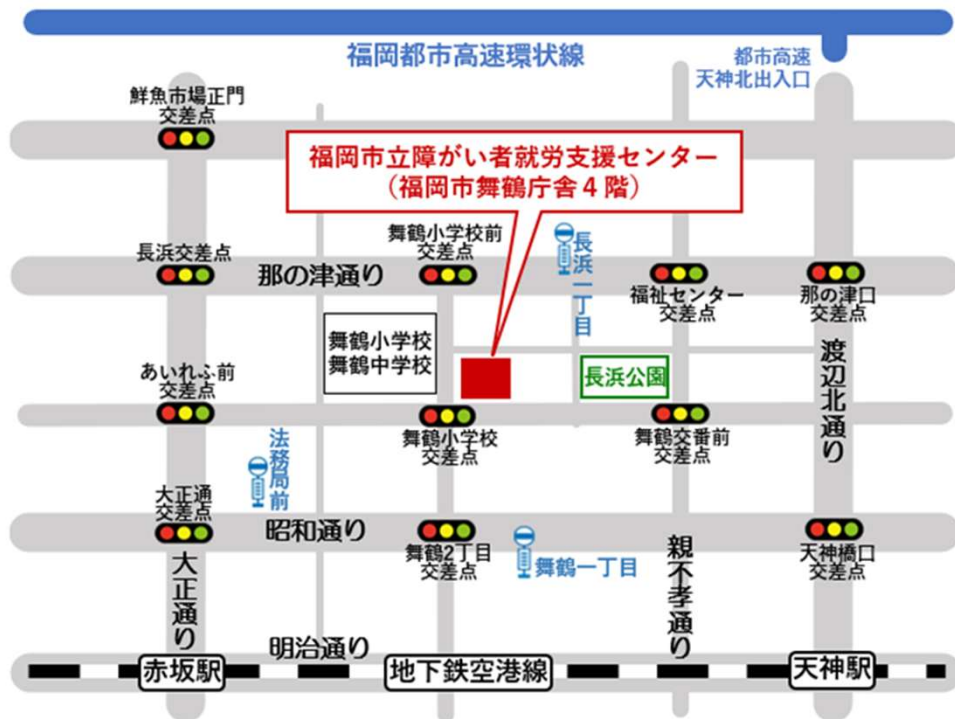
研修名	内容	講師
サービス 個人情報 研修	サービス規則及び就業規則について 個人情報取り扱いについて	障がい者就労・発達支援課
メンタルヘルス研修	対人援助職のセルフケア	福岡市立心身障がい福祉センター 精神神経科医師 小原 葉子氏
接遇研修	対人援助の基本	障がい者就労・発達支援課
人権研修	障がい者の人権について	障がい者就労・発達支援課
虐待防止研修	障がい者虐待について	障がい者就労・発達支援課
専門研修	依存症の理解と支援	福岡市精神保健福祉センター 精神科医師 山田 宗和氏
専門研修	ワークサンプル幕張版を活用した アセスメント	福岡障害者職業センター 井上 満佐美氏

②講師等の派遣

派遣先	派遣内容	受講者数	実施日
株式会社クラ・ゼミ アクセスジョブ福岡高宮	就労支援シンポジウム 「これからの就労支援での連携を考える」	160	5月2日
九州大学学務部キャリア・奨学支援課	令和7年度基幹総合科目 「キャリア形成基礎」 (障害のある学生向けクラス)	12	6月25日
福岡市立城西中学校	特別支援学級進路学習会 「働くことについて」	28	6月30日
社会福祉法人福岡市社会福祉協議会	令和7年度第1回地域福祉専門職研修 「障がい者就労支援センター及び発達障がい者支援センターについて」	61	7月9日
久留米大学就職・キャリア支援課	令和7年度 障がい学生に対する就活セミナー	27	7月23日
福岡市教育委員会	発達障がい者の職業自立に向けた取り組み	40	7月28日
福岡市教育委員会	働きやすい職場環境の作り方 障がい特性に応じた配慮	1000	8月21日 ～ 9月5日
博多高等学園	就職セミナー	92	9月1日
福岡女学院大学	障がい者就労支援センターについて	12	9月10日
公益社団法人博多法人会	障がい者就労支援セミナー	102	10月8日
公益社団法人 全国障害者雇用事業所協会	発達障がいの特性と職場の対応	187	11月6日
社会福祉法人福岡市社会福祉協議会 地域福祉課地域共生係	障がい者就労支援センターでの支援事例	2	11月13日
中小企業家同友会	障がいのある方の就労について	47	11月18日
福岡市立発達障がい者支援センター	保護者向け連続講座 「はじめの一步」	58	11月29日
福岡市立特別支援学校 清水高等学園	進路学習会	116	1月9日
福岡市立心身障がい福祉センター 障がい者自立訓練センター (発達障がい)	本人・利用者向け講座 「障害のある方の就労・支援について」	12	1月15日
福岡発達障がい親の会「たけのこ」	就労に向けた準備 就労のプロセスと職場定着	13	1月17日
福岡市立長住小学校	障がいのある学生の職業的自立に向けた取り組み	39	2月18日

③見学者

JRパレット九州株式会社 他 19機関 計192名



-  西鉄バス 「長浜一丁目バス停」 徒歩3分
-  西鉄バス 「法務局前バス停」 徒歩5分
-  西鉄バス 「舞鶴一丁目バス停」 徒歩5分
-  地下鉄空港線「赤坂駅」3番出口 徒歩6分
-  地下鉄空港線「天神駅」1番出口 徒歩9分

令和7年度 事業報告書

— 第 23 号 —

発行年月日：令和8年8月

発 行 者：社会福祉法人 福岡市社会福祉事業団
福岡市立障がい者就労支援センター

〒810-0073

福岡市中央区舞鶴1丁目4番13号

福岡市舞鶴庁舎4階

TEL (092) 711-0833

FAX (092) 711-0834